

JA農産物直売所視察研修会を開催

—長野県のJA農産物直売所視察及び担当者との意見交換を実施—

5月18日(水)～19日(木)、直売所の販売力強化や運営改善に向けた取り組みの一環としてJA農産物直売所の視察研修会を開催し、直売所担当者等10名が参加しました。

1日目は、長野県JA信州うえだ「農産物直売所マルシェ国分」を視察しました。同店舗は、Aコープファーマーズうえだ店に併設されたインショップ型の店舗です(27年度売上高約3億5千万円)。店舗の概要等の説明を受けた後、長野県直売所担当者(長野県内6JA7名、連合会等2名)と情報交換会議を開催し、店舗に関する質疑応答と、直売所における販促活動・品揃対策・安全安心の取り組みについて活発な意見交換を行いました。



【概要説明を聞く参加者】



【情報交換会議の様子】

2日目は、JA松本ハイランド「ファーマーズガーデンやまがた」を視察しました。同店舗は、魅力ある店舗をめざして計画的なイベントの実施等により売上の伸びている店舗です(27年度売上高約6億円)。店舗内を視察しながら積極的に店長と意見交換を行いました。



【店長へ質問する参加者】



【店内の様子】

中央会では今後も、直売所の販売力強化を通じて多様な農業者が農業所得を確保できるよう、担当者向け研修会を実施するとともに、店舗診断による個別運営支援や県統一キャンペーンなどに取り組んでいくこととしています。

3つのC (①C hange ^{チェンジ} (変革)・②C hallenge ^{チャレンジ} (挑戦)・③C reate ^{クリエイト} (創造)) で販売品取扱高目標の達成!

農業者年金業務新任者研修会を開催 —農業者の老後に備える農業者年金制度を理解しよう!—

5月10日(火)、JA栃木中央会は栃木県農業会議と共催で、「平成28年度農業者年金業務新任者研修会」を開催し、新任のJA農業者年金担当者、農業委員会担当者等65名が参加しました。

研修では、農業者年金制度の情勢報告や、加入資格、保険料等の制度の詳細、さらに年金資産運用等について学びました。また、「理解度テスト」を実施し理解を深めました。

なお、農業者年金の特徴・メリットとして次の点を強調して説明しました。

- 農業者の方なら広く加入できる。
- 積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い。
- 保険料の額（月額2万円～6万7千円）は自由に決められる。
- 終身年金である。80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金がある。
- 税制上の優遇措置がある。
- 農業の担い手には保険料の国庫補助がある。

独立行政法人農業者年金基金では、平成28年度から「加入者累計13万人に向けた後期2ヵ年強化運動」に取り組むこととしています。本県JAグループとしても目標(新規加入者106名)の達成に向けて、一層の取組強化を図ることとしています。

農業者の老後の生活安定のために、引き続き農業者年金の推進、適正受給の指導に努めていただきますようお願いいたします。



【 研 修 会 の 様 子 】

とちぎ地産地消県民運動実行委員会を開催

とちぎ地産地消県民運動実行委員会（会長：福田富一県知事）が、5月13日（金）に開催されました。

実行委員会副会長である中央会の高橋会長は、「本委員会は、平成16年から、消費者と生産者の相互理解、地域農産物の利用・提供の拡大、豊かな栃木の食づくりを目指して運動を展開している。栃木のおいしい農畜産物を地元栃木で消費する運動を家庭や学校で一層すすめていきたい。」とあいさつしました。

議事では、27年度の事業報告・収支決算、とちぎ地産地消推進方針（第4期）、28年度の事業計画・収支予算が承認されました。特に28年度は学校給食関係の補助事業を組みかえ、とちぎ地産地消給食推進事業を実施することとなりました。また、本実行委員会役員の任期満了に伴い、次のとおり新たに役員が選任されました。

<新役員>

会長	福田 富一	（栃木県知事）
副会長	菊池 恵子	（栃木県市町村消費者団体連絡協議会会長）
〃	高橋 武	（栃木県農業協同組合中央会会長）
〃	福田 徳一	（栃木県商工会連合会会長）
監事	南 斎 好 伸	（公財）栃木県農業振興公社理事長
〃	新井 俊一	（公社）栃木県観光物産協会会長

協議終了後には、構成団体を代表して、栃木市町村消費者団体連絡協議会、（一社）とちぎ農産物マーケティング協会、栃木県教育委員会の3団体より、地産地消の取り組みについて報告がありました。また、平成27年度とちぎ地産地消夢大賞の一般部門において、夢大賞を受賞された、企業組合らんどまあむ 理事長 大越歌子氏より、地産地消の取り組みについての事例発表がありました。

<参考：とちぎの地産地消給食推進事業>

学校給食において、県産農畜産物の利用拡大を図るとともに、農業体験や児童・生徒等と生産者との交流等を行うことで、県産農畜産物への理解を促進する事業です。食材購入に要した経費、農業体験等に要した経費、学校給食地産地消会議に係る地産地消コーディネーターの活用に必要な経費の1/2を助成します。

<事例発表：企業組合らんどまあむの活動>

下野市で、生産・加工・販売までを行い、農業の6次産業化を行っている組織です。地産地消にも力を入れており、地元の特産品であるかんぴょうを使用した「かんぴょうの八幡巻き」は、下野市のブランド認定の商品にもなっています。道の駅しもつけにも弁当・惣菜等を出品して人気になっています。



【らんどまあむ 大越理事長の講演】

「とちぎの農業」、「ランチョンマット」等を県教育委員会に贈呈

小学校社会科学習資料「とちぎの農業」は、JAグループ栃木が「食育教育プラン」の一環として、小学校教育を通じて本県の農業の実態を正しく理解し、食生活を支える農業の重要性、食の安全・安心について認識をより深めることを目的に、平成9年から毎年発行し、栃木県内の小学3年生全員に配布しています。この編集にあたっては、栃木県小学校教育研究会社会部会の先生方や、栃木県農政部等に協力をいただき、平成28年度版を2万1千部作成しました。

また、食の大切さを学ぶとともに、県産農畜産物の認知度を高めていくため、平成28年度小学校新入学児童を対象に、栃木県産農畜産物PR資材として「ランチョンマット」を1万9千枚作成しました。

これらの贈呈式を4月19日（火）に栃木県教育委員会にて行いました。贈呈にあたって高橋会長は、「次世代を担う子どもたちが農業への理解を深めるきっかけとなるよう、ご活用いただきたい」とあいさつし、宇田貞夫栃木県教育長は、謝意を述べられました。

また、JAバンクが平成20年度から作成し、主に小学校5年生を対象に、食と農業、環境の関わりを総合的に学べる資料となっている「農業と私たちの暮らし」も併せて贈呈しました。



【宇田教育長に学習資料を手渡す高橋会長、大島副会長、農林中央金庫 田中支店長】

みんなのよい食プロジェクト28

－第1回県下統一街頭宣伝活動を実施－

JAグループ栃木は5月18日(水)に、「みんなのよい食プロジェクト28」の活動方針に基づき、今年度第1回目となる県下統一街頭宣伝活動を県内各地で実施しました。

JA栃木中央会、農林中央金庫宇都宮支店、JA全農とちぎ、JA共済連栃木の役職員24人はJR宇都宮駅西口と東口に分かれ、「笑味ちゃん法被」を着て歩行者に「おはようございます。JAグループ栃木です。」と挨拶しながら笑味ちゃんオリジナルクリアファイルとチラシを配布しました。

JA栃木中央会の猪瀬専務は「この街宣活動を通じて食と農の大切さを消費者にアピールし、県産農産物を食べてもらえるよう訴えていこう」と挨拶して、自ら街宣活動に参加しました。

なお、この街頭宣伝活動は、1月に県下統一行動を実施するとともに7月～11月にかけてJAの独自行動を実施することになっています。



【歩行者にチラシを渡しPRする役職員】

第1回『家の光』記事活用講座を開催

5月11日、今年度1回目となる『家の光』記事活用講座として、『家の光』6月号と7月号を使って料理・手芸教室を開きました。JAくらしの活動とJA女性会の記事活用リーダー研修の一環として、県内JAの女性会会員ら18人が参加しました。

調理実習では、5班に分かれて『家の光』6月号記事「余った乾物をいつもの料理に!」を参考に「ヒジキとトマトのスープ」、「ヒジキのキーマカレー」、全中の乳和食テキストから牛乳を使った「ひじき入り鶏ひき肉のミルク信田煮」「苺ミルク大福」の4品を調理しました。

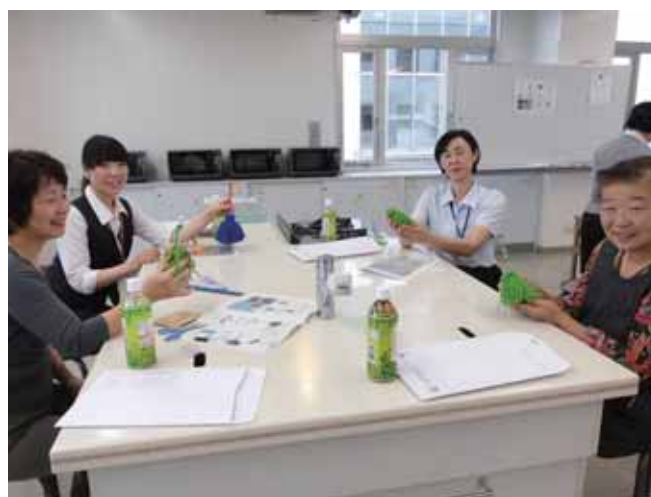
参加者らは、カレーのスパイスや塩・コショウ等の調味料の種類などアレンジを加えながら調理しました。スープとカレーは家庭で余りがちな乾物を使って簡単にできるので、ぜひ家でも試してみたいとの声も聞かれ、料理の写真を撮る参加者もいました。

手芸では、『家の光』7月号のハンドメイド記事から「余り毛糸と割り箸で作るミニモップ」を作成しました。手軽に作ることができ、参加者の中には地区グループで作りたいという人もいました。

今回の手芸は30分程度でできますので、ぜひ、多くの地区で『家の光』の記事を活用して、女性会のグループ活動やJAくらしの活動で活かしてください。



【記事を参考に調理する参加者】



【素敵なミニモップが完成しました!】

第59回JA栃木指導員連盟通常総会を開催 —農家所得向上に向け営農指導員の果たすべき役割を確認—



【挨拶する齋藤 正一 委員長】

JA栃木指導員連盟は、5月11日（水）、第59回通常総会を開催し、県内の営農指導員ら73人が参加しました。28年度の事業計画では、農家所得向上に向け、営農指導員相互の交流による知識・情報の共有化、資質向上のための研修会の開催などが承認されました。また、役員補選があり、3名の新役員が承認されました。

役 職	氏 名	J A 名
副委員長	矢田部 匡弘	うつのみや
委 員	廣木 哲人	は が 野
〃	靄 巻 英夫	お や ま

総会后、優良営農指導員13名を表彰し、その功績を称えました。

〈JA営農指導員表彰者一覧〉

J A 名	氏 名
うつのみや	手 塚 博
は が 野	小 宅 真
	上 野 文教
しもつけ	猿 山 道之
	新 井 康浩
お や ま	大 足 篤志
	菅 沼 英明
足 利	山 口 準
しおのや	石 田 弘美
	室 井 克之
な す の	吉 田 和弘
	大 島 哲男
な す 南	大 野 尚信



【表彰状授与式】

基調講演では、G I (地理的表示保護制度) を題材として、JA全中 大田洋輔氏による「農家所得の増大と地域活性化に向けた知財農業の推進」と、JA稲敷 関川直氏による「江戸崎かぼちゃG I登録実践事例」の講演を行いました。

農産物のG I登録は、農家所得向上、地域活性化にもつながります。栃木県内においてもG I登録を目指して、取り組みましょう！！

J A グループ栃木採用対策研究会を設置

県内JA等の新規職員採用は、応募者数の減少や内定辞退の増加、さらに再募集を実施しても採用予定人員が確保できないという課題がみられ、今後の事業継続に支障を来すことが懸念される状況です。

このため、JAグループ栃木として新規採用の課題等を検討するため、採用対策研究会を設置しました。

研究会の構成メンバーは、JA（3組合）、中央会、全農とちぎ、共済連栃木の人事担当部署の係長・主任クラスです。平成28年4月～8月において、毎月1回程度研究会を開催します。ここで、JAグループ栃木の将来を担う優秀な人材の確保を図るための採用対策を検討していきます。

『就職白書2016』の調査結果によると、企業側の「2016年卒採用活動の総括」における2015年12月時点での2016年卒の採用数は、「採用数充足」は48.3%、「未充足」は50.7%となりました。

1年前のデータになりますが、県下JAでも2014年10月時点で2015年卒の採用数と内定者について「採用数充足」は4JA、「未充足」は6JAでした。

企業側の「2017年卒の新卒採用活動の展望」は、「変わらないと思う」という見方が最も高い回答率でしたが、「選考応募者数」「新卒採用活動の母集団」について4割前後が「減ると思う」、「内定辞退者数」については3割強が「増えると思う」とみています。

このため、前年と同様の対策・対応では、新規採用について採用数の充足が難しくなってくると想定されます。

第1回の研究会では、各JA・中央会・連合会への新規採用の実態調査を実施した結果について、意見交換し課題の絞り込みを行いました。

次回からは、募集対策、選考方法、内定辞退対策、離職対策、人材の活用等を切り口に課題の対応策を検討していきます。

なお、検討結果は、都度、各JAの人事担当部署に報告いたします。

最終検討結果については、中央会が人事教育担当部課長会議や専務常務会経営実務部会、理事会等に報告します。

日本農業新聞全国大会で県内 J A が受賞

5月10日(火)に東京都で開催された平成28年度日本農業新聞全国大会で、栃木県の2 J A が、日本農業新聞の普及事業において優れた功績を収めたとして、表彰されました。

J A うつのみやが普及拡大優績 J A 表彰、J A 足利が長期普及優績 J A 表彰を受賞しました。

J A うつのみやは、普及にあたる営農経済センターを役員が巡回し進捗管理を行い、目標部数を達成しました。また、短期購読者への対応として12月から1月にかけて追加で普及運動を行いました。

J A 足利は、長期購読の推進により目標部数を達成し、年間平均部数を3年以上連続して増部しています。

日本農業新聞は、農業や農家、J A の立場に立って正確・的確な情報を発信し続けている農業の専門紙であり、J A の機関紙です。農家や J A 組合員・役職員に役立つ情報や地域に身近な話題を提供し、多くの方に読んでいただくため、J A においても日本農業新聞普及・編集について積極的な取り組みをお願いします。



【普及拡大優績 J A に輝いた
J A うつのみやの佐久間組合長】



【長期普及優績 J A に輝いた
J A 足利の石橋組合長】

平成28年熊本地震におけるJAグループ栃木の支援の取り組み

4月14日に発生した「平成28年熊本地震」は、今もなお断続的な余震が発生しており、被災地の復旧には相当の時間を要する現状にあります。被災地では、震災により設備の損壊した選果場での選果作業が喫緊の課題ということで、全国段階で支援隊の取り組みが急きょ展開されることになりました。この支援隊に参加しましたので報告します。

また、本県JAグループ独自の取り組みとして募金活動も5月末日まで展開しました。ご協力に感謝いたします。

【支援隊の活動概要】

1. 支援先

支援先	活動日程	本県からの参加人数
JA熊本経済連 第2園芸集送センター	4月30日(土)～5月3日(火)	5名 JA佐野2 JA中央会5
	5月3日(火)～5月6日(金)	3名 JA中央会3
	5月6日(金)～5月9日(月)	2名 JAしもつけ1 JA中央会1

※支援隊は5月9日以降も継続して実施されております。被災地での受入調査の結果本県からの受入が見送りとなった支援隊もありましたが、6月にかけても支援活動を行っています。

2. 支援内容

- (1) 出荷コンテナ(メロン・ミニトマト)の選果ラインへの運搬作業
- (2) メロン・ミニトマトの箱詰め作業
- (3) 箱詰めされた段ボールの規格別区分け
- (4) 出荷用段ボールの組み立て作業



【コンテナの選果ラインへの運搬】



【集荷されたコンテナ(メロン)】



【ミニトマトの機械での選別】



【機械で選別されたメロンの箱詰め作業】



【箱詰めされた段ボールの運搬】



【規格ごとに分けしたメロンの段ボール】



【出荷用段ボールの組み立て作業】



【第三陣(4/30～5/3)の本県からの参加者
(集送センター前にて)】

教育センターレポート

—新任管理職研修会を開催—

平成28年度の新任管理職研修会を開催し、JA・栃酪・エルサポートの新任管理職57名が参加しました。

この研修会は、管理者が組織の中で果たすべき役割を理解するとともに、その役割を主体的に果たすため、マネジメントに関する知識を習得することを目的としています。

JA全中が開発した教材を使用し、第1部では組織の理解、第2部では管理者の中核的な役割（組織目的の実現、職場の活性化、変革の推進）、第3部では管理者の中核的な役割を支える役割（意思決定、評価、リスク対応）について学びました。

参加者からは、「管理者として不足している点を気づかされた」「置かれた立場の重要性を認識した」等の感想が聞かれました。

今後、管理者として気持ちを新たに、業務および部下指導等に邁進されることを期待いたします。



【グループ討議を行う研修生】

一支所・支店長研修会（第1班）を開催ー

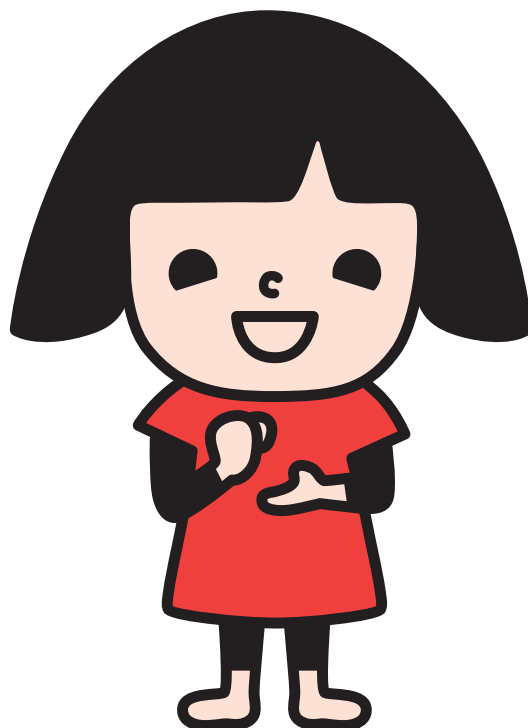
4月20日に支所・支店長研修会（第1班）を開催し、新任の支所・支店長等24名が受講しました。

この研修会は、中央会・農林中金宇都宮支店・共済連栃木の共催で、新任の支所・支店長等を対象に、管理者としてのコンプライアンス意識を高めるとともに、信用・共済事業の業務管理能力の向上をはかり、不祥事の未然防止と適正な業務遂行に資することを目的としています。

研修会では、中央会からは不祥事未然防止に向けた対応について、農林中金および共済連からは信用・共済事業の業務管理のポイントについて、それぞれ説明しました。また、「自分が目指す支店づくり」をテーマに、個人演習と意見交換を行いました。

参加者からは、「業務管理のポイントが理解できた」「他の支店長との話し合いはためになった」などの感想が寄せられました。

今回の研修が、コンプライアンスの徹底と業務向上に活かされることを期待いたします。なお、経験2年以上の支所・支店長等を対象とする第2班の研修会は、6月16日（木）に開催いたします。



－第8回JA中核人材育成研修会を開講－

「第8回JA中核人材育成研修会」を5月17日に開講し、10JA・基金協会・中央会から19名の受講者が参加し、来年1月までの研修会がスタートしました。

この研修会は、将来の幹部職員として期待される職員を対象に、組合員・利用者の営農と生活に起点において、JA事業を企画立案しマネジメント・サイクルに基づいて事業展開できる人材の育成を目指しています。

研修内容は、①JAの果たす役割・使命を再認識し、組織・事業運営上の課題について学ぶ、②経営学（経営戦略・マーケティング戦略・組織論・イノベーション）に関する理論と実務を学ぶ、③自JAの組織・事業運営上の課題を考え、改革に向けた提案（論文の作成）を行う、④内部監査士に係る研修・試験を通じて内部統制・事業管理に関する知識を養う、の4部門構成となっています。

開講式の主催者あいさつで、猪瀬専務は「今後JA改革の中核を担えるよう、より多くのことを吸収してほしい」と激励しました。

受講生からは、「研修を通じて自分の視野を広げたい」「学んだことを持ち帰りJAの発展に役立てたい」等の抱負が述べられました。

来年1月までの35日間にわたる研修会を通じて、将来の幹部職員として活躍できる知識・能力を身に付けることを期待します。



【開講式で抱負を述べる受講生】

J A教育センター主催の6月・7月の研修会等の開催予定は下記のとおりです。

日 程	研 修 会 名	対 象 者
6月1日～2日	係長研修会(第1班)	新任係長(未受講の係長含む)
6月6日～7日	新任理事・監事研修会	新任理事・監事
6月9日	職員資格認証・特級研修会①	特級 受験予定者
6月10日	JA中核人材育成研修会④	将来の幹部職員候補者
6月14日	営農経済管理者研修会	営農経済担当管理者(本店・営農経済センター)
6月14日～15日	係長研修会(第2班)	新任係長(未受講の係長含む)
6月16日	支所・支店長研修会②	支所・支店長(新任以外)
6月16日	職員資格認証・特級研修会②	特級 受験予定者
6月20日	農協監査士養成研修会⑪	28年度農協監査士試験 受験予定者
6月21日～22日	事業法務研修会	新任の管理者・実務担当者、内部監査士受験者等
6月23日～24日	JA中核人材育成研修会⑤⑥	将来の幹部職員候補者
6月27日	職員資格認証・特級研修会③	特級 受験予定者
6月27日	農協監査士養成研修会⑫	28年度農協監査士試験 受験予定者
6月29日	職員資格認証・初級インストラクター研修会	初級インストラクター担当者
7月1日	JA中核人材育成研修会⑦	将来の幹部職員候補者
7月4日	平成29年度JAグループ栃木職員 統一採用試験(短大・大卒I期)	平成29年3月短大・大学卒業見込者または卒業者
7月6日	職員資格認証・特級研修会④	特級 受験予定者
7月7日	非常勤役員研修①1班	非常勤理事・監事
7月8日	JA中核人材育成研修会⑧	将来の幹部職員候補者
7月11日	農協監査士養成研修会⑬	28年度農協監査士試験 受験予定者
7月13日	職員資格認証・特級研修会⑤	特級 受験予定者
7月14日	JA中核人材育成研修会⑨	将来の幹部職員候補者
7月15日	非常勤役員研修①2班	非常勤理事・監事
7月19日	職員資格認証・中級研修会①1班	中級 受験予定者
7月20日	職員資格認証・特級研修会⑥	特級 受験予定者
7月21日	JA中核人材育成研修会⑩	将来の幹部職員候補者
7月22日	農協監査士養成研修会⑭	28年度農協監査士試験 受験予定者
7月27日	職員資格認証・中級研修会①2班	中級 受験予定者
7月28日	JA中核人材育成研修会⑪	将来の幹部職員候補者
7月29日	職員資格認証・上級研修会①1班	上級 受験予定者

※受講申込は、J A 栃木教育センターまで。

(TEL : 028-616-8560 FAX : 028-616-8594 E-mail : kyouiku@tcchu-ja.or.jp)



消費者へ農業理解促進の一環として、下野新聞に毎月1回「ふおーyou とちぎJAプラザ」を掲載しています。

ここで、アンケートを実施し、紙面に対する感想が寄せられていますので、一部ご紹介します。今後の事業取り組みの参考にして下さい。

～3月18日掲載 テーマ 佐野ブランド認証の「かき菜」～

【かき菜について】

- ・栃木に来て初めてかき菜を知りました。くせがなく、どんな料理にも合いおいしいです。春のほろ苦さが季節を感じさせてくれますね。
- ・かき菜が春野菜で栄養価も高いこと初めて知りました。ほうれん草、小松菜より高いとはびっくり、たくさん食べます。中華炒めのレシピは春色できれい、すぐ作りたかったです。
- ・いつも興味深く記事を読んでいます。県南に住んでいた頃、栄養豊富なかき菜をよく食べていました。保存方法をはじめて知ったので参考にしたいと思います。かき菜の炒め物おいしいですよ。子供たちと一緒にまた食べてみようと思います。野菜を作っている農家の方々のことも見え、食べ物を大切にしようと思う気持ちを子供たちにも伝えていこうと思います。
- ・かき菜の栄養価は、ほうれん草や小松菜を上回っているとは驚きです。種が交雑しないように別の場所に移して防護ネットをして種をとる苦労もあるのですね。お役立ちレシピ、作ってみようと思います。

【JAの取り組みについて】

- ・子供を持ってから、食に対する関心が高くなりました。ふおーyouで色々勉強させていただいています。これからも楽しみにしています。
- ・ふおーyouの紙面は私も農業をしていますので、とても興味深く読ませていただいています。季節の食をとりあげ、レシピも手軽に作れるもので大変役立っています。
- ・栃木JAプラザを読んでいると、栃木県の野菜、花と多くのことを知れるので、とっても勉強になっています。また、雑学辞典とレシピも参考にさせていただいています。
- ・記事内容が豊富で充実していました。特に、JA足利管内の、どの直売所にも自由に農産物を納入できるシステムが大変よいと思います。今後はさらにグループ全体で拡大していったらどうか。JAとちぎグループの今後の発展を乞う！

理事会だより

平成28年5月12日(木)に第2回理事会が開催されました。

(協議事項)

(1) 平成28年度通常総会関連日程について

6月30日開催予定の通常総会に関連する日程が承認されました。

(2) JAグループ栃木「米需給調整・需要拡大基金」平成27年度収支報告並びに平成28年度収支計画について

基金にかかる収支報告後、新年度の収支計画が承認されました。

(3) 栃木県農業者懇談会との連携に関する覚書の締結について

懇談会と連携して取り組みを展開していくための覚書締結が承認されました。

(報告事項)

(1) JAグループ栃木担い手サポートセンターの取り組み状況について

(2) 平成28年度内部監査の実施について

(3) TPPをめぐる情勢とJAグループの取り組みについて

(4) 平成27年度JA決算速報について

(5) 本県における平成28年度「JAくらしの活動」の展開について

(6) 特例年金制度(農林年金)完了にかかる意見交換会における意見集約結果について

(7) 熊本地震への対応状況(中間報告)について

(8) 平成28年度JA常勤役員向け研修会等について

(9) 平成25年4月以降の災害等に対する支援状況について

(10) JA都道府県中央会の組織変更の実務に係る意見募集について

(11) 第157回「しもつけ21フォーラム」6月例会のご案内について

(12) 下野新聞JAプラザふぉーyou読者アンケート結果について

(13) 平成28年度中央会・連合会役員研修について

(14) 27年産収入減少影響緩和交付金に係る対象農産物の交付金額等について

平成28年6月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部	電算企画運用部	電算開発部	教育部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン					
1 水				(全中)くらしの活動 担当者研修				係長研修会(1班)	
2 木									
3 金	各課経営会議								
4 土									
5 日									
6 月				東日本地区教育文化 活動研究会	FPフォロー研修会②			新任理事・監事研修会	
7 火						Excel研修会①		宮農経済管理者研修会	計画審査会
8 水				なすの検討会	人事担当部長会議			特級研修会①	
9 木					有価証券経営担当者研修会 専務常務会議			中核人材育成研修会④	
10 金	理事会・運営委員会等			農対本部委員会 損害賠償協議会総会		JAかみつつが統廃合処理			
11 土						JAかみつつが統廃合処理			
12 日									
13 月		農業金融プラットフォーム研修						岡甲信教育担当者会議(茨城)	
14 火				助け合い活動 組織研修会	事務改善委員会専門部会			係長研修会(2班)	うつのみや期中監査1
15 水	総務調整会議				事務改善委員会総会				
16 木				女性会会長・事務局会議		Excel研修会②			
17 金	第1回経営担当者会議				企画管理担当部長会議				
18 土									
19 日									
20 月								農協監査上研修会①	
21 火		JA岡甲信地区営農部長会議						事業法務研修会	
22 水						Excel研修会③			
23 木				日本農業新聞特別通 会議・研修会	クラブ内部監査部課長会議				
24 金				高齢者福祉担当部 課長会議				中核人材育成研修会⑤⑥	
25 土									
26 日				女性会統一企画 旅行(第1班)					
27 月								特級研修会②	はが野期中監査1
28 火								農協監査上研修会②	
29 水					事務改善委員会			初級インストラクター研修会	
30 木	通常総会								

